

オルミエントを服用されている方へ

オルミエントの服用方法

通常4mg錠を1日1回、1錠を毎日服用します。あなたの状態によっては、半分量の2mg錠が処方される場合もあります。

いずれの場合も、必ず主治医の指示にしたがって服用してください。

腎臓が悪い方や高齢の方は、副作用が強くあらわれることがあるので、ご注意ください。

オルミエントを服用する前に確認すべきこと

以下に該当する人は、主治医、看護師または薬剤師に相談してください。

- ・過去にオルミエント錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・感染症の人または感染症が疑われる人
- ・結核にかかったことのある人、または結核にかかっている人
- ・腎臓や肝臓が悪い人
- ・血液検査値の異常がある人
- ・腸管憩室（腸に袋状のくぼみ）ができた状態がある人
- ・間質性肺炎（かみしつせいはいえん）になったことがある人
- ・静脈血栓塞栓症（じょうみやくけっせんそくせんしゅう）（例えばエコノミークラス症候群）のリスクがある人

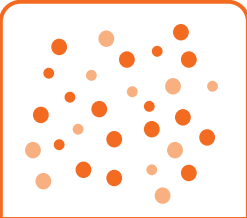




妊婦または妊娠している可能性がある方、授乳している方

妊婦または妊娠している可能性がある方は服用することができません。妊娠可能な方は、オルミエントを服用している間および服用終了後少なくとも1月経周期は、適切な避妊を行ってください。なお、オルミエントを服用している間は、授乳しないことが望ましいです。

オルミエント服用中に気をつけること

服用中に注意が必要な症状

オルミエントの効果を発揮させ、副作用のリスクを最小限にするためには、副作用の症状にできるだけ早く気づくことが大切です。以下の症状に続き、重い副作用があらわれる可能性があります。症状に気づいたら服用をやめ、すぐに主治医、看護師または薬剤師に相談してください。

 <p>痛みを伴う発疹 <small>たいじょうほうしん</small> (帯状疱疹)</p>	 <p>咳</p>	 <p>発熱</p>	 <p>のどの痛み</p>	 <p>寒気</p>
発疹	顔色が悪い	だるい	動悸	激しい腹痛
食欲の低下	めまい	ふらつき	頭が重い	息切れ

オルミエントと一緒に服用するときに注意が必要なお薬

痛風(高尿酸血症)の治療薬を服用している患者さんでは、オルミエントの作用が強くなることがあります。

必ず、医師または薬剤師にお伝えください。

また、何らかの予防接種を行う場合には主治医、看護師または薬剤師にご相談ください。

安全性について

オルミエントによって、副作用があらわれる可能性があります。副作用は、できるだけ早く気づいて対処することが大切です。少しでも「おかしいな」と感じるがあったら、できるだけ早く主治医、看護師または薬剤師にご相談ください。

他の医療機関を受診する場合

他の医療機関を受診する場合には、オルミエントを服用していることを、主治医、看護師または薬剤師にお伝えください。

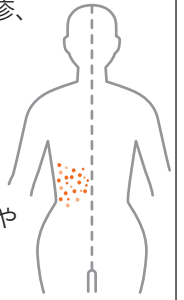
注意すべき事象

注意すべき症状

たいじょうほうしん
帯状疱疹

帯状疱疹は、痛みを伴う赤い発疹(ぶつぶつ)や水ぶくれを主な症状とする病気です。最初に数日～1週間程度、皮膚の内側からチクチク・ピリピリした痛み*が続いた後、同じ場所に発疹があらわれます。症状が進行すると、体の左右どちらか片側に発疹が帯状に広がっていき、やがて発疹は水ぶくれへと変化していきます。症状に気づいたら、すぐに主治医、看護師または薬剤師にご相談ください。
*痛みの感じ方には個人差があり、痛みではなくかゆみと感ずる場合があります。ほとんどは適切な治療によって回復しますが、治療の開始が遅れた場合には後遺症として痛みやしびれ、発疹のあとが残ることがあるので、早めの治療が大切です。

・痛みを伴う赤い発疹、水ぶくれ
・微熱 など
帯状疱疹は、体の左右どちらかに症状があらわれます。また、顔を含む頭部や足に発疹することもあります注)。



注)発症部位は胸から背中にかけてが最も多く、患者さんの半数以上が上半身に発症します。

感染症

オルミエントの服用中は免疫の働きが低下し、感染症にかかりやすくなる可能性があります。また、感染症にかかったときにみられる発熱や体のだるさなどの症状があらわれにくくなるかもしれません。感染症を防ぐために、日ごろから手洗いやうがいなどを心がけましょう。感染予防のためのインフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンの接種については主治医と相談してみましょう。
軽い風邪のような症状であっても、急に悪化することがあります。症状に気づいたら、すぐに主治医、看護師または薬剤師に連絡してください。

風邪のような症状
・発熱
・咳
・のどの痛み
・寒気 など
(例えば、結核の場合は咳などの風邪に似た症状があらわれます)

肝機能障害

体のだるさ、食欲の低下、発熱、黄疸(おうだん)(皮膚や白目が黄色くなる)などの症状がみられることがあります。少数ではありますが、B型肝炎ウイルスの再活性化も報告されています。

・だるさ
・食欲の低下
・発熱
・皮膚や白目が黄色くなる など

血液検査値の異常

貧血の症状(めまい、ふらつき など)がみられることがあります。コレステロールの値や、白血球・血小板・好中球・リンパ球の数、ヘモグロビンの値、クレアチンホスホキナーゼ(CPK)の値などに異常がみられることがあります。

・めまい、ふらつき など

かんしつせいはいえん
間質性肺炎

間質性肺炎とは、肺の中で酸素を取り込む肺胞(はいぼう)の壁やその周辺に炎症が起きて、酸素が上手く取り込めなくなる状態です。

・発熱
・空咳(たんを伴わない咳)
・息切れ など

せんこう
消化管穿孔

消化管穿孔とは、何らかの原因により胃や腸に穴があいてしまった状態です。消化管穿孔に至る前に、胃の痛みなどの症状があらわれることがあります。憩室炎(大腸の一部が袋状に突出し、炎症を起こした状態)を指摘されたことがある場合は、消化管穿孔を起こしやすいと考えられていますので、必ず主治医、看護師または薬剤師にお伝えください。

・激しい腹痛
・胃の痛み
・黒色便
・突然起こり、その後持続する腹痛
・空腹時のみぞおちの痛み など

おうもんぎんゆうかいししょう
横紋筋融解症・ミオパチー

臨床試験において、筋肉の障害がみられた患者さんが報告されています。

・筋肉痛
・手足がしびれる
・だるい など

こうそく
心筋梗塞、
しょうみやくけつ
脳卒中、静脈血
せんそくせんしゅう
栓塞栓症など

オルミエントとの因果関係は明らかではありませんが、臨床試験において、心筋梗塞、脳卒中や静脈血栓塞栓症がみられた患者さんが報告されています。

・胸の痛み
・しびれ
・めまい
・ろれつが回らない
・足の痛み など

しゅよう
悪性腫瘍

オルミエントとの因果関係は明らかではありませんが、臨床試験において、悪性腫瘍がみられた患者さんが報告されています。

(例えば、だるさや痛みなど悪性腫瘍の種類、重症度に応じて様々な症状があらわれます)

Lilly

<作成>

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086 神戸市中央区磯上通5丁目1番28号

OLM-P013 (R2)

2019年6月作成

Lilly Answers

日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口 リリーアンサーズ

0120-245-970^{※1} (一般の方・患者様向け)

〈当社製品に関するお問合せ〉

●受付時間 月曜日～金曜日 8:45～17:30^{※2}

上記時間外は音声ガイダンスにて対応しています

※1 通話料は無料です。携帯電話、PHSからもご利用いただけます
※2 祝祭日及び当社休日を除きます